

事例 1

「男女共同参画社会の実現をめざす教育の実践に向けて」を活用した事例

校 種	小学校	学 年	1 年
テーマ	だれのおしごと？		
領 域	道徳		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家の仕事に興味を持ち、男女に関係なく、それぞれの家庭にあった自分ができる仕事をやっていこうとする態度を養う。</li> <li>○ 社会において誰もが心地よい生活を送ろうとする心を育てる。</li> </ul>		
<p>【学習展開（概要）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 家でどんなおてつだいをしているかを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ しんぶんはこび</li> <li>・ ペットのえさやり</li> <li>・ 犬の散歩</li> <li>・ 食事のあとかたづけ</li> <li>・ せんたくもののとりいれ</li> <li>・ おふろあらい</li> <li>・ おそうじ</li> <li>・ げんかんはき</li> </ul> </li> <li>2 紙芝居「ばんごはんのしたく」を読み、感想を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家事労働を誰がするかを決めつけていないかに気づく。</li> <li>・ 家族みんなが心地よい生活を送るという観点で考える。</li> </ul> </li> <li>3 家の仕事をだれがしているのかを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分も家族の一員としてできる家事労働をやっていこうとする意欲を持つ。</li> </ul> </li> <li>4 調べたことを表にまとめ、自分でできることを考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会においても、自分ができることは、男女に関係なく取り組み、誰もが心地よい生活を送れるようにしようとするきっかけにする。</li> </ul> </li> </ol>			
<p>【工夫・配慮点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生の子どもたちが、興味関心を持って学習を進めることができるよう、紙芝居や絵カードを使用した。</li> <li>○ 自分が調べた結果をもとに、絵カードを直接グラフに貼り付ける作業を通して、家の仕事の分担に偏りがあることを実感させるようにした。</li> <li>○ 各家庭では家の仕事の担い手に違いがあることを押さえ、一人親家庭への配慮を行った。</li> </ul>			
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業を展開する中で、1年生の子どもたちなりに家庭の仕事分担の偏りに気づくことができた。</li> <li>○ 自分のできることを考えさせたことにより、授業終了後、家庭でお手伝いを積極的にする姿が見られた。</li> </ul>		
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年生の子どもたちなりに興味関心を持って学習を進めることができたが、今後、家庭の協力も得ながら、継続的に学習を深めていく必要がある。</li> </ul>		